

アジアの文化を守り育てる会
活動報告書
2010 - 2011 年

<目次>

1. ごあいさつ 代表 中平順子
2010年度活動報告
2. 2010年の実施活動スケジュールとその報告
3. 第9回刺繍創作コンテスト報告
4. 2010年収支報告
2011年度活動報告
5. 2011年の実施活動スケジュールとその報告
6. 第10回刺繍創作コンテスト&記念パーティー報告
7. 2011年収支報告

文責：アジアの文化を守り育てる会 事務局
2012.1月作成

1. 第10回刺繍創作コンテストを終えて

2001年12月に第1回コンテストを開催し、11年間にわたりこの刺繍創作コンテストの支援活動を続けてこられたのも、ご支援くださる皆様のおかげです。

2011年は、11月26日にベトナム・ホーチミン市にあるコンチネンタルホテルにて、第10回ベトナム刺繍創作コンテストを開催しました。今回は、第10回目を記念して、日本から11名の賛同ボランティアの方々が同行くださり、開催準備から設営、受付、演奏など多岐にわたりお手伝いくださいました。そして、今までコンテスト参加の各所属センターと、コンテストに応募してくださった子どもたちとシスター、手話通訳、ホーチミン在住の今まで出会った日本人の方々、民間協力団体アクア・ランチのスタッフ、長年にわたりABMSの通訳と運転手を引き受けてくださっている方のご家族皆様等を御招待して、総勢120名参加の開催となりました。

今回は恒例の手品のほか、特に音楽演奏が入り盛り上げていただきました。内藤敏子さんによるギター演奏、松島よしおさんとグエン・タックさん（アクア本部スタッフ）率いるホン・ベトのベトナム音楽の演奏、どちらも心にしみる素晴らしい音楽に皆さんうっとりとして聴き入りました。

キエンザン省ミーラムホンダット障害児支援学校のダンスは耳が不自由であることを感じさせないチームワークで、音楽に合わせ、美しい衣装をまとった踊りを披露してくれました。また、ZAKKAより寄贈された自転車3台のうち、2台はコンテストの最優秀賞受賞者へ、残りの1台はランチタイムにZAKKAオーナーの渡邊さんとじゃんけんゲームをして勝ち残ったキエンザンの女の子が獲得しました。

賞品、参加賞ともども、すべてのコンテスト参加者に行き届くように配り、それを入れる袋は日本から参加の駒形さんと小高さんの手作りでした。プレゼントの品々もABMSが用意した物のほか（絵本作家、まついのりこさんより寄贈された絵本、水彩色鉛筆など）、こちらも同行くださった巽さんが滋賀県から持参してくださったグッズも入れました。

コンチネンタルホテルのランチメニューは、通訳の川村きくみさんと8月に訪越して決めておいたものです。時間をかけながら準備を進めていたおかげか、至らないこと多々ありましたが、無事にコンテストを開催することができました。

参加の子どもたちから「本当に楽しかった！お料理もおいしかった！」と言われ、また、FFSCのシスターからは「とても素晴らしい10回目でした」と輝く笑顔で感想を述べてくださいました。

第11回は例年のアンミンろう学校の会場へ戻ることになると思います。次回どのような作品ができてくるのか、また、20歳以上も枠を広げてほしいとの要望もあり、検討しなければなりません。10回の節目を終え、今後の活動の意義を問いながら、ベトナムとのかかわりをさらに豊かにより良きものとしていきたいと思っています。

刺繍コンテストの絵は、ひと針ひと針丁寧に刺して作り上げています。

ささやかな試みのベトナム創作刺繍コンテストですが、支援にかかわってから12年を超す日々が過ぎました。これからも、一人一人の出会いがベトナムと日本の交流と豊かな未来へ結ばれていくような「文化の絵」を描き続けられることを願っています。今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。

2012年1月
ABMS代表 中平順子

2010年度活動報告

2. 2010年の実施活動スケジュールとその報告

2010年は8月と12月にセンターの視察訪問を行いました。8月の訪問目的は、運営開始となった新ビンアンセンターの視察のほか、フェアトレード製品の発注のためにキエンザン省ミーラムホンダット障害児支援学校を訪問しました。また、年末に開催する第9回刺繍創作コンテストの会場として毎年拝借しているアンミンろう学校を訪問し、施設の設備などリサーチを行いました。具体的なスケジュールは下記のとおりです。

【2010年8月訪問スケジュールと実施報告】

8月26日（木）成田出国

8月27日（金）アンミンろう学校訪問、第9回コンテスト会場使用の打ち合せ。

音響設備に支障ありと判断。長年会場として講堂を無料にて貸し出しくださっていることから、12月訪越時に音響アンプとマイクのセットを寄贈することを約束しました。午後はコンテスト後援団体の民間協力団体アクアさんのベトナムブランチを訪問。9月末提出期限の第9回刺繍創作コンテスト作品提出の件と、提出後の日本への郵送に関して打ち合せをしました。その後は市場にてフェアトレード製品用の生地などを購入しました。

8月28日（土）紙芝居バックなどの製作を依頼している障がい者作業所 CoCoRo にて製作管理を担当している狭間範子さん（ホーチミン在住）と打ち合せ。トートバック、紙芝居バック、さおり織りを用いた製品の打ち合せを行いました。

8月29日（日）キエンザン省へ出発。20時、キエンザン到着。

8月30日（月）キエンザン省ミーラムホンダット障害児支援学校訪問。フェアトレード製品の納品と新規発注の依頼を打ち合せしました。カンボジア国境に近いこの学校では、2009年頃よりカンボジアからストリートチルドレンが流れてくると聞いていました。その後も子どもたちの数は増え続け、施設として保護するだけでもなくなり、とうとうそのような子どもたちをも対象にした幼稚園を学校内に設置したそうです。ホンシスターをはじめとし、薄ピンク色のエプロンが幼稚園児担当のシスターたちとのことで（この生地はかつて ABMS に寄贈されたもの。それをキエンザンへ寄付していたのですが、このように役立てられてるとはうれしいですね）、忙しそうにパタパタと子どもたちを追いかけていらっしゃいました。

8月31日（火）F.F.S.C 事務所訪問。センター製作の製品の購入と、フェアトレード製品発注などの打ち合せ。ビンアンセンター近況報告をいただきました。午後は、シスターヒエン同行のもと、ビンアンセンターの視察しました。子どもたちの数も増え、寄宿しているスペースや食事をとる部屋なども充実している様子でした。夜便でベトナム出国。

9月1日（水）早朝に成田到着。

【12月訪問スケジュールと実施報告】

12月2日（木）成田出国

12月3日（金）ホーチミン市内にて、刺繍コンテスト時にワークショップで使用する文具（スケッチブック、鉛筆など）購入のほか、当日の昼食・菓子類・飲み物の手配、アンミンろう学校に寄贈するマイク・アンプのセットなどを購入し、納品しました。通訳のきくみさん、そしてドライバーのウィさん、例年のごとくではあるもののコンテストに必要な備品などを「毎度お馴染み！」とばかりに素早く手配してくださいました。このお二人の機動力と実行力なくしてコンテストはもはや成り立たなくなりつつあります。感謝です。

12月4日（土）第9回刺繍創作コンテスト開催@アンミンろう学校にて

当日の報告は次項目をご参照ください。

12月5日（日）ホテルにて CoCoRo 作業所の狭間範子さんと紙芝居バック、ほか松戸市の方より依頼された舞台衣装のサンプル製品などを依頼しました。おかげさまで紙芝居バックの売れ行きは好評につき、半年に2回の注文がすべて売り切れとなる状況です。使い勝手も良いようで、紙芝居を入れるだけでなく、大きめのトートバックと

しても人気の商品で定着しています。

12月6日(月) F.F.S.C 事務所訪問。フェアトレード製品のエプロンドレスなどを発注。その後にビンアンセンターを訪問しました。増設建築していた部分が出来上がり、さらに4階を棟上するとの報告を受けました。

12月7日(火) フェアトレード製品用の生地などを市場にて購入。また、2011年度の第10回刺繍創作コンテスト開催へ向けて、パーティー会場となるホテルを下見し、コンチネンタルホテルで打ち合せをしました。その後は、コンテストで賞状を入れる額縁などがホーチミンで購入できないか額縁屋などをリサーチしましたが、日本のOA賞状用紙などがピッタリ収まるタイプが見つからず。結局、額縁などに関しては日本からすべて持参するほうが安全と判断しました。夜便にてベトナム出国

12月8日(水) 成田到着

3. 2010年第9回刺繍創作コンテスト報告

2010年12月4日(土)、例年の会場として定着しつつあるアンミンろう学校の講堂にて、約40名の参加者のもと無事に第9回刺繍創作コンテストを開催することができました。

開始時間前に、各センターのシスターの先生方が明るい笑顔で少女たちと共に会場へ入ってこられ、展示作品に一直線で向かい、それぞれ友達の作品に見入っていました。手話でやり取りしている子もあれば、普通の会話をしている子もあり、開場はとても和やかな気配に満ちていました。

近年は、ホーチミンに在住する縫製品などの雑貨商 ZAKKA オーナーの渡邊様、そして ZAKKA の日本人のスタッフ方々などが本コンテストへ参加くださっています。コンテストで開催しているお絵描きワークショップの際にも子ども達のフォローなど、お手伝いをさせていただきました。

今回のコンテストでは、開催当初より支援をいただいております群馬県の国際ソロプチミスト利根ぬまた様より「ソロプチミスト賞」を再び設置いただけたほか、千葉県松戸市にあるゆいの花公園の協力のもと、コンテスト作品投票展示会を開催し、「ゆいの花賞」を公園来場者に投票いただくという新しい流れも生まれました。

日本における作品展示会では、子どもたちの作品やコメント文にこめられたベトナムの少女たちの思いに共感し、支援くださるネットワークが少しずつ、全国的規模に広がってきています。ホームページをご覧になった方たちからは、布地と工業用ミシン糸をご寄付があり、生地類はエコバックやティッシュペーパー入れ、ランチバック、ピロケース等としてセンターに製作依頼し、フェアトレード製品になりました(2011年夏夏に納品・販売済み)。このほか、複数の方より刺繍糸をご寄付いただき、キエンザン、ビンアン両施設へ届けました。

また、今年10月28日からは、富山県こども未来館にて、刺繍作品を展示する予定です(※2012年1月4日展示会無事に終了しました)。

こうして支援活動を継続してこられたのは、日々努力して明るい未来を構築しようとしているベトナムの少女たちの生きる姿勢、そして、私たちを支えてくださるたくさんの方々の支援あってのことです。改めて、感謝とともに御礼を申し上げます。

【第9回刺繍創作コンテスト受賞者一覧】

【奨励賞】	センター	名前	作品名
	ビンアン	レー・ティ・ゴック・チン	楽しい瞬間
	ビンアン	チャン・ティ・トゥー・フォン	楽しい幼少時代
	ビンアン	ダオ・ティ・モン・ヴァン	楽しい時間
	ビンアン	キェウ・ゴック・ホア	幼少期の景物
	キエンザン	チャン・ティ・ゴック・ピック	水牛の世話
【ゆいの花賞】			

	キエンザン	グエン・ティ・ミー・ハイン	魚釣り
	ビンアン	グエン・ティ・モン・トゥー (★)	喜びはいつまでも
【国際ソロプチミスト利根ぬまた賞】			
	ビンアン	ファン・ティ・ホン・ガム	幼少期の記憶
	キエンザン	グエン・ティ・トゥエン	ベトナムの立ち姿
【優秀賞】	キエンザン	グエン・ティ・チャー・ミー	傘にはいるアヒル
	ビンアン	ファン・ティ・ホン・ガム	幼少期の記憶
【最優秀賞】	キエンザン	タイック・ティ・チュック・スアン	天の神

★印は 15 歳

【当日の式次第】

9:30	開場			
10:00	開式			
	挨拶	ABMS	中平順子	
		アクア	グエン・ゴック・ビク・タック氏	
10:05	参加センター自己紹介	センター紹介		
			ビンアンセンター	
			キエンザンセンター	
10:15	お楽しみ会	紙芝居	中平順子	
		マジックショー		
10:50	休憩			
10:55	お絵描きワークショップ	人物デッサン		
11:45	コンテスト授賞式			
12:00	昼食			
12:30	お絵描き発表会		スケッチの発表	
12:45	総評	ゲストコメント		
12:55	閉式の挨拶		中平順子	

■コンテスト風景（写真）

センター紹介



キエンザンセンター



ビンアンセンター

マジックショー（ろうあの子も楽しめるようにと、音がなくても楽しめるレクリエーションを用意しました）



紙芝居



お絵描きワークショップ（昨年好評だったので2010年も再びデッサンに取り組みました）



今回はキエンザンのこどもたちとピンアンのこどもたち、知らない人同士ペアを組んでのデッサンワークショップ。耳が聴こえない友達とは、身振り手振り、筆談で会話したりなど、会場はそれぞれの工夫と笑顔で溢れていました。



コンテスト授賞式



4. 2010年度支出報告

■2010年のコンテスト経費報告書

VND = 0.00425

USD=86.6

2010年度第9回刺繍創作コンテスト支援寄付金額一覧

項目	寄付団体・個人（敬称略）	日本円	VND	USD	詳細メモ
寄付	国際協力団体 AQA	100,000			
	JR東日本労働組合大宮地方本部	100,000			
	個人	20,000			
	国際ソロプチミスト利根ぬまた	6,000			
	昨年度の残金	10,151			
	合計	236,151			

コンテスト経費一覧

項目	内容	日本円	VND	USD	詳細メモ
通信	コンテスト生地郵送費	2,200			生地郵送
	作品国際郵送費		599141		作品郵送費
備品	作品展示用文具	1575			テープ類、賞品封入紙袋など
	コンテスト当日用文具	977			名前シール、賞状翻訳用用紙
	コンテスト当日用文具	3360			賞状用紙
	コンテスト書類印刷用インク	4617			プリンターインク
WS	お絵描きWS用（30人分）		1074500		スケッチブックなど
	お絵描きWS用（30人分）		450000		スケッチ用鉛筆、消しゴム
賞品	各種コンテスト参加賞品	4725			鉛筆削り、賞金封筒、参加賞用クリアケースなど
	賞状用額縁	11760			賞状用額縁
	水彩いろえんぴつ	16947			参加賞品
賞金	【キエンザン障害児学校】				
	最優秀賞		400000		1人受賞
	優秀賞		200000		1人受賞
	奨励賞		200000		1人受賞
	ゆいの花賞		200000		1人受賞
	ソロプチミスト賞		200000		1人受賞
	指導賞		1000000		5人受賞分
	製作費補助		1000000		5人参加分
	交通費補助			5000000	

	【ピンアンセンター】				
	優秀賞		200000		1人受賞
	奨励賞		800000		4人受賞
	ゆいの花賞		200000		1人受賞
	ソロプチミスト賞		200000		1人受賞
	指導賞		1400000		7人受賞分
飲食	飲み物		216000		
	菓子		731,800		
	ランチ		380000		
	反省会		206000		
補助金	製作費補助		1200000		6人参加分
	交通費補助		550000		往復
寄付	アンミンろう学校アンプ寄贈※		8590000		長年の会場拝借謝礼として
人件費	翻訳	39000			次回案内、コメント文翻訳
	通訳			200	当日ベトナム語通訳
	マジックショー		500000		
	総額	85,161	25497441	200	
	コンテスト経費合計（円換算）	85,161	108,364	17,320	
	円での経費総額		210,845		

寄付収入総額	236,151
コンテスト経費総額	210,845
残金	25,306

残金については、2011年度のコンテスト資金として充当いたします。

※アンミンろう学校へのアンプ寄付に関して

アンミンろう学校の講堂は、ここ5年ほど学校側の御厚意でコンテスト会場としてただで拝借しております。（こちらからのお礼をかねて、年2回80万ドンずつ〔日本円6800円×2回〕の寄付を渡していましたが、たとえ学校長が変わったとしても当会の活動に支障がないようにと次の校長先生へきちんと引き継ぎをしてくださるなど、毎年たいへんご理解・ご協力をいただいておりますので、それらの厚遇に感謝すべく、アンミンろう学校の講堂に設置されていたマイクなどの音響設備が、とても古く、そして壊れかけていたことを考慮し、長年のお礼も兼ねて新しく音響設備（アンプとマイク）を寄贈いたしました。こちらは、昨年度のコンテスト経費で余った残金と、今回の寄付金のあまりから充当いたしました。

■2010年収支報告（全体）

VND=0,00425 USD=86,6

収入一覧	円	VND	USD
コンテスト寄付金	236,151		
一般寄付金（※）	55,550	220,200	200
物品販売売上	533,500		
各通貨合計額	825,201	220,200	200
円換算金額	825,201円	936円	17,320円
2010年度収入総額	843,457円		

※一般寄付とは、刺繍創作コンテスト開催寄付以外への寄付を示します。

支出一覧	円	VND	USD
コンテスト開催経費	210,845		
人件費	39,000		2600
交通費	132,410	425,000	
宿泊費			567,50
海外旅行保険	15,860		
食費	8,230	4,105,850	
通信費	2,780		
文具・消耗品費	10,068		
接待交際費	19,646		
フェアトレード・市販製品購入費	29,000	19,759,000	70
福利厚生			20
各通貨合計額	467,839	24289850	3257,50
円換算金額	467,839	103,232	282,100
2010年度支出総額	853,171		

繰越金	25,306円（コンテスト開催費あまり。来年に繰り越し）
-----	------------------------------

コンテスト開催費用のうち、25,306円が余りました。こちらは2011年度第10回刺繍創作コンテスト開催費用として繰越済みです。

2011年度活動報告

5. 2011年の実施活動スケジュールとその報告

2011年は、8月末（コンテスト開催会場、関係者との事前詳細打合せ）と12月（第10回刺繍創作コンテスト&記念交流パーティー開催）に訪越しました。12月のコンテストでは、日本から11名を越える方々が同行くださり、また、また、国内での作品展示会を、富山県のこどもみらい館（2011年10月8日～2012年1月5日まで）にて長期間に渡ってこれまでの作品60点を展示してもらったほか、千葉県松戸市のゆいの花公園にて作品の投票展示会を開催（2011年11月5、6日）、12月には埼玉大学とさいたま市主催のキッズユニバーシティというイベント内にてこれまでの作品20点近くを展示しました。

【2011年8月の訪問スケジュールと実施内容】

8月21日（日）成田出国

8月22日（月）刺繍コンテスト会場のコンチネンタルホテル担当者と打ち合せ

会場の広さや収容人数、会場・音響設備、サービス料金、サービス内容など確認、仮予約しました。

8月23日（火）キエンザン省ミーラムホンダット障害児支援学校のホンシスターとHCMで打ち合せ。

8月24日（水）ミトー、クチトンネルへ下見（12月の市外観光のため）

8月25日（木）アンミンろう学校訪問、ピンアンセンター、F.F.S.C事務所を訪問 夜便にてホーチミン出国

アンミンろう学校に寄贈した音響アンプの調子を伺いがてら、12月コンテスト開催の案内とご招待の挨拶に伺いました。

8月26日（金）成田帰国

【11月の訪問スケジュールと実施内容】

11月23日（水）成田出国

11月24日（木）同行者の方々と市内観光など

今回は、日本から計9名の方が視察訪問に同行くださいました。ベトナム初訪問という方もいらっしゃったので、初日である24日はまずは市内観光から。ホーチミン市の見所をご案内しました。

11月25日（金）全員でコンテスト準備（終日）

コンテスト前日ということで、この日は朝からホテルに缶詰となつての準備作業。支援くださる皆様より寄付されたこどもたちへのプレゼントや参加賞などをお手製の布バックに詰めただけ（こちらの布バックは、今回一緒に訪越された駒方さんと小高さんが作ってくださいました。ありがとうございました）、こちらも同行くださった巽さん持参の小物グッズも封入しました。

11月26日（土）コンチネンタルホテルにて第10回刺繍創作コンテスト&記念交流パーティー開催（終日）

詳細はコンテスト報告の欄をご参照ください。

11月27日（日）市外観光 クチトンネルとミトーのココナツミルク工場などの観光。

せっかくベトナムまで来たので、足をのばしてベトナム戦争の戦跡として有名なクチトンネルと、ベトナム特産のココナツミルク工場がある島に観光へ行きました。メコン川を船で渡ったり、水牛がゆっくりと耕す水田の風景、どれもベトナムの景色。刺繍コンテストの作品にも多くみられる風景でした。

11月28日（月）ピンユン省にある障がい者職業訓練施設の視察（社会局管轄）、ホーチミン市にあるCoCoRo作業所（こちらも障がい者の方の作業&物品販売店舗）視察見学。

観光から一転、この日は障がい者施設の見学をしました。ピンユン省の障がい者職業訓練施設は、以前ABMSで車椅子を寄贈したところです。久しぶりの再訪となりました。施設では、同行された内藤敏子さんが訓練を受けている若者にギターを演奏してくださいました。初めてみるスイスの楽器、音色に目を輝かせていました。内藤さん、演奏をありがとうございました。午後に訪問したCoCoRo作業所では、私たち一行の到着を待ちわびていたようで、作業所で作った製品のファッションショーやダンスなど、とても楽しいひと時を過ごしました。一生懸命作った製

品、たくさん購入しました！

11月29日(火) F.F.S.C 事務所訪問、ピンチューセンター、ピンアンセンター視察訪問、夜便でベトナム出国。

午前中はピンチューセンターを久しぶりに訪問しました。こどもたちがたくさん待っていてくれ、元気な挨拶と歌声で出迎えてくれました。センターの料理担当の方が腕をふるってくださって昼食は本当においしく、感激でした。午後はピンアンセンターを訪問。夏訪問で拝見していた4階増設部分も完成しており、こどもたちが充実した様子で過ごしていました。ピンチューセンター、ピンアンセンターでも内藤敏子さんにギターを演奏いただきました。内藤さんをこどもたちとシスターたちが囲い、繊細な音色にしばしひたる贅沢なひと時でありました。F.F.S.Cの事務所では、皆でたくさんフェアトレード製品を購入しました。

11月30日(水) 早朝成田到着

6. 第10回刺繍創作コンテスト&記念パーティーの報告

2011年11月26日(土)、ホーチミン市のコンチネンタルホテルにて第10回刺繍創作コンテストと交流記念パーティーを開催しました。総勢120名の参加のもと、刺繍コンテストやゲストによるマジックショーや内藤敏子さんによる素晴らしいギターの演奏会、アクア本部スタッフのグエン・ゴック・ビック・タックさんと、松島よしおさん率いるホン・ベトによるベトナム歌曲のバンド演奏、センターのこどもたちのよる歌や踊りの披露など、とても楽しい時間となりました。また、支援金捻出のために協力をくださっているZAKKAさんからは、コンテストの賞品として自転車を3台も寄贈くださいました。2台は最優秀賞の+α賞品として贈呈し、残りの1台は交流パーティー最後に、ZAKKA オーナーの渡邊様に登場いただき、当日参加したこどもたち全員とじゃんけん勝ち抜き戦を行い、最後に勝ち抜いた子(キエンザン)が自転車を贈呈されました。とても盛り上がりました。また、コンテストでは千葉県松戸市のスーパー紙トンボの会様より寄贈された紙トンボ80機もプレゼント。日本の伝統的な手づくりおもちゃを皆で楽しんだほか、昼食はホテルのビュッフェランチを皆でいただきました。ランチでは、スキップしながら何度もおかわりをするこどもたちの喜びように、うれしくなりました。パーティーの最後には、日本の方より寄付された上等な刺繍糸をセンターにたくさんプレゼントしました。とっても喜んでいらっしゃいました。

コンテスト&記念交流パーティー開催にあたり、現地で調整くださった通訳の河村きくみさん、そして当日のスタッフとして会場をとりまとめてくださった日本からの同行者の皆様、そして、本当に素晴らしい音色で会場を盛り上げてくださった内藤敏子様とホン・ベトの皆様、そして様々にご協力をくださった皆様に心より感謝を申し上げます。現地のこどもたち、先生たちに喜んでいただけたのも、すべて皆様のお力添えのおかげでございます。ありがとうございました。

【第10回刺繍創作コンテスト受賞者一覧】

創作賞	キエンザン	グエン・ティ・モン・トゥエン	清く正しく
		Nguyen Thi Mong Tuyen	Trong Sang
創作賞	ピンアン	キェウ・ゴック・ホア	私の夢
		Kieu Ngoc Hoa	Voc Mo Cua Em
創作賞	キエンザン	ブイ・キム・メン	舟での楽しみ
		Bui Kim Men	Vui Choi Taen Thuyen
創作賞	ピンアン	グエン・ティ・トゥイー	運命を乗り越えて
		Nguyen Thi Thuy	Vuot Len So Phan
創作賞	ピンアン	マー・クイン	学校への夢
		Ma Quynh	Voc Mo Truong Hoc
創作賞	ピンアン	グエン・ティ・ホン・トー	父親へのイメージ

		Nguyen Thi Hong Tho	Hinh Anh Nguoi Cha
創作賞	ビンアン	チャン・ティ・チュック・ダオ	私の夢
		Tran Thi Truc Dao	Uoc Mo Cua Em
創作賞	キエンザン	グエン・ティ・チュック・スア	私の故郷
		ン	
国際ソロプチ ミスと利根ぬ また賞	キエンザン	Nguyen Thi Truc Xuan	Que Em
		ヴォー・ティー・ハー	大きく広がれ
国際ソロプチ ミスと利根ぬ また賞	ビンアン	Vo Thi Ha	Vuon Len
		レ・ティ・ゴック・チン	故郷
ゆいの花賞	キエンザン	Le Thi Ngoc Trinh	Que Hu Ong
		グエン・ティ・チャー・ミー	春の花
		Nguyen Thi Tra My	Hua Xuan
15 歳未満			
賞	所属	名前	タイトル
最優秀賞（自転 車）	ビンアン	グエン・ティ・トゥイ・キエウ	将来
		Nguyen Thi Thuy Kieu	Tuong Lai
16 歳以上			
奨励賞	キエンザン	レー・ティー・アイン・グエン	開花
		Le Thi Anh Nguyen	Hoa No
優秀賞	キエンザン	グエン・ティ・ジエウ	楽しみ
		Nguyen Thi Dieu	Vui Dua
最優秀賞（自転 車）	キエンザン	グエン・ティ・トゥエン	親友同士
		Nguyen Thi Tuyen	Doi Ban

【当日の式次第】

時刻	分数	項目	メモ
8:30		開場	
9:00	5分	開式のあいさつ	ABMS:中平順子
			アクア:グエン・ゴック・ビク・タック氏
9:05	20	参加者、学校の紹介	
9:25	5	ゲスト・参加者の紹介	
9:30	10	ギター演奏会	内藤敏子氏
9:40	30	第10回創作コンテスト授賞式	
		参加賞授与	
		受賞者発表&授与式	

10:10	5	コンテスト作品講評&ゲストよりコメント	
10:15	15	マジックショー	
10:30	20	お楽しみ交流会	
10:50	15	センター&学校のパフォーマンス	
11:05	10	日本の展示会報告	
11:15	25	作品閲覧会	
11:40	20	ホン・ベト ミニコンサート	グエン・タック&ホン・ベトバンド
12:00	40	昼食会	
12:40	15	ゲスト・参加者よりコメント（感想）	センター学校、ゲスト含め
12:55	5	次回コンテストのご案内	ABMS:中平順子
13:00	5	閉式のあいさつ	ABMS:中平順子
13:05		お別れのミニ交流会	Zakka 渡邊氏 (自転車争奪じゃんけんぼん)

【コンテスト&交流パーティーの風景（写真）】



コンテスト前日の準備風景

日本から持参したもの、ベトナムで購入したもの、ひとつずつ皆で準備しました。



授賞式の様子



ホン・ベトによるのベトナム歌曲のミニライブ



生演奏に会場は盛り上がりました。



ギター奏者内藤敏子さんによるギター演奏、時にはBGMとしても演奏してくださいました。



これまでに作品をたくさん展示しました。



皆でベトナムの童謡を歌ったりしました。
(内藤さんの伴奏で)



各センターごとにパフォーマンスをしてくださいました。
(キエンザンセンターの創作ダンス)



好評のマジックショー、やりました！





ZAKKA 渡邊さんとの自転車ジャンケンぽん大会。



チター伴奏でクリスマス曲を歌いました。



ホテルのレストラン。昼食をビュッフェでいただきました。みんなとても喜んでくれました（左がキエンザン。右はビンアンセンターのこどもたちです。）

7. 2011年度収支報告

■2011年のコンテスト&交流パーティーの経費報告

寄付金（円）

1VND=0.00430 1\$=80

項目（敬称略）	金額（円）	金額（VND）	金額（USD）
アクア	50,000		
JR労組大宮支部	100,000		
国際YOP° 糸利根ぬまた	6,000		
一般寄付	180,000		
昨年度残金	25,306		
コンテスト収入総額	361,306		

経費一覧

項目	分類	金額（円）	金額（VND）	金額（USD）
お菓子代	プレゼント	2,952	815,000	
会場費	賃料		10,000,000	
ビュッフェ	食事代		42,000,000	
お茶代（ミネラルウォーター）	食事代		121,220	
会場雑費	会場費用		727,320	

音響チャージ	会場費用		2,000,000	
賞金	ピンアン		3,000,000	
	キエンザン		3,400,000	
製作費補助	ピンアン		1,400,000	
	キエンザン		1,600,000	
交通費補助	ピンアン		550,000	
	キエンザン		5,000,000	
人件費（通訳・翻訳）	人件費	42,000	500,000	400
参加賞	賞品	22,480		
表彰状額縁	額縁	21,705		
文具	消耗品	8,461		
打ち合せ費	会議費	1,270	170,940	
交通費	交通費	3,020		
郵送代	通信費	14,570	719,000	
		116,458	72,003,480	400
日本円換算		116,458	309,615	32,000
コンテスト経費総額		458,073 円		

■2011年の収支報告（全体）

敬称略

1VND=0.00430

1\$=80

収入一覧	円	VND	USD
コンテスト寄付金	361,306		
その他寄付・カンパ金（※）	51,900		
物品販売売上	642,500		
各通貨合計額			
円換算合計金額			
2011年度収入総額	1,055,706		

※その他寄付・カンパ金とは、刺繍創作コンテスト開催費以外への寄付を示します。

支出一覧	円	VND	USD
コンテスト開催経費	458,073		
会議費	1,270		
人件費	73,310		2,610
雑費消耗品費	17,319		
食費	20,983	4,105,324	
施設寄付		2,000,000	
フェアトレード・市販製品購入費	388,960	17,545,000	
収入印紙費	200		
通信費	19,610	719,000	

宿泊費	18,200	17,000	376
旅費交通費	72,580	10,200	
海外旅行保険費	7,460		
接待交際費	5,568	2,519,000	
2010年度各通貨支出総額	1,083,533	26,915,524	2986
各通貨円換算金額	1,083,533 円	115,737 円	238,880 円
2011年度支出総額	1,438,150円		

次年度越金はありません。

【協力・後援・支援くださった皆様】敬称略

・刺繍コンテスト後援団体

民間協力団体アクア、JR東日本労働組合大宮支部、国際ソロプチミスト利根ぬまた

・展示会協力

国際ソロプチミスト利根ぬまた、松戸市ゆいの花公園、富山県こどもみらい館、埼玉大学（キッズユニバーシティにて）、カフェ土瑠茶など

・個人の方々（順不同）

石田甚太郎、小栗房子、鈴木得常（長光寺）、平井俊子、まついのりこ、村木節子、ほか個人の方々よりカンパをいただきました。また、匿名の方を含め多数から刺繍糸や布、文房具など多数ご寄付をいただきました。ありがとうございました。

・プレゼント協力

【自転車3台】ZAKKA 渡邊、【紙とんぼ80機】スーパー紙とんぼの会、【文房具など小物】巽照子（東近江図書館）、【手製布バック】駒形昭子、小高一子